

君

三年

画数 7
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆
オン クン
クン きみ

成り立ち

君 → 君 → 君 → 君 → 君

「国王のしるしである『ぼう』を手にもった形をあらわした『尹』と『口』とを組み合わせた字です。

「口」は人々をさしずするいみをあらわしていることは『兄』の『口』のばあいと同じです。

「人々をさしずする、国王のしるしをもった人」をあらわした字です。国王のことをわが国ではむかしは『きみ』といいました。それで、国王のいみの『君』を『きみ』とよみます。やがて、このことは、あい手をそんけいしていうときにつかうようになりましたが、今では、親しい人にたいしてつかうようになりました。

「尹は、『令尹』とも言われ、役所の長官の呼称である。わが国では弾正台の長官を『尹』と称した。」

三年

使い方

▽中国は古い国ですから、名君も多くあらわれましたが、暗君や暴君も多くあらわれました。

▽君という字は君主といういみの字で、あい手をそんけいしていう時につかいましたが、だんだんそんけいのいみがうすれ、今では親しい人、または目下の人にしかつかわれなくなりました。

熟語例

▽君主 (国の王さま。天子や皇帝のこと。)

▽名君 (すぐれてりつばな君主。明君)

▽明君 (賢明な君主。㊦「暗君」)

▽暗君 (暗愚な君主。愚かな王さま)

▽暴君 (横暴な君主。むごいことをへい気とする乱暴な王さま)

▽君子 (学問にすぐれ、人格の高い人のこと。)

▽父君 (手紙などであい手の父をそんけいしていうにつかうことばです。『ちちぎみ』と読むこともありま

す。)

▽諸君 (「君たち(あなたたち)」といういみのことばです。「皆さん」といういい方と同じいみです。)

二九〇

係

三年

画数 9
筆順 ㇀ ㇁ ㇂ ㇃ ㇄ ㇅ ㇆ ㇇ ㇈
オン ケイ
クン かかり・かかいる

成り立ち

係 → 係 → 係 → 係 → 係

「糸」という字の上に、糸の形の『フ』をくわえて、『糸と糸を『つながり』ことをあらわした『系(年865)』と『イ』とを組み合わせて作った字です。

「人と人の『つながり』といういみ、また、「しごと」と人の『つながり』といういみにつかわれます。

「かかり」とは、「その『しごと』の『うけもち』ということで、「しごと」と『人』との『つながり』をあらわしたものです。例 会計係、せいり係。

また、「あることとこととの『つながり』のいみにもつかわれます。例 関係。

「『つなぐ』意味の『繫』が常用漢字にないため、同音の『係』が代用される。例 係留、係争、連係」

使い方

▽ぼくは、こんど黒板係になりました。黒板をきれいにふいておく係です。

▽わたしは、おかあさんといっしょに、おしげいを見に行きました。げきじょうに入る時、係の人がきつぷを半分ちぎりました。せきがすぐにわからなかったのので、おかあさんと二人でさがしていると、べつの係の女の人が、あんないしてくれました。

熟語例

▽関係 (あるものと、べつのものが、なにかのつながりをもっていること。また、そのつながり。「おとうさんのこきょうと松尾芭蕉とは深い関係があるそうです」などというふうにつかいます。)

▽係累 (自分とつながりのある人たち、ということ。自分の身内。自分が世話をしなければならぬ家族。「あの人は係累が多いので、大へんだ」などというふうにつかいます。)

▽係員 (係の人。あるしごとをうけもっている人。「火事などがおこったさいには、おちついて係員のゆうどうにしたがつて下さい」などというふうにつかいます。)

三年

二九一